

# アオリバランサー

## 取扱説明書

お客様用  
(この取扱説明書は必ず  
お客様にお渡し下さい)

## 1 前書き

1. この取扱説明書をよく読んで理解するまではアオリバランサーを使用しないで下さい。
2. この取扱説明書は車両の取扱説明書と一緒に必ず車内に保管し、必要なときにいつでも読めるようにしておいて下さい。
3. 「**△警告**」とはもしそれを守らないと人身上の怪我につながる恐れのある事柄に関するもので、「**注意**」とはもしそれを守らないと製品そのもの並びに周りの物品の破損や故障につながる恐れのある事柄に関するものです。

## 2 外観図

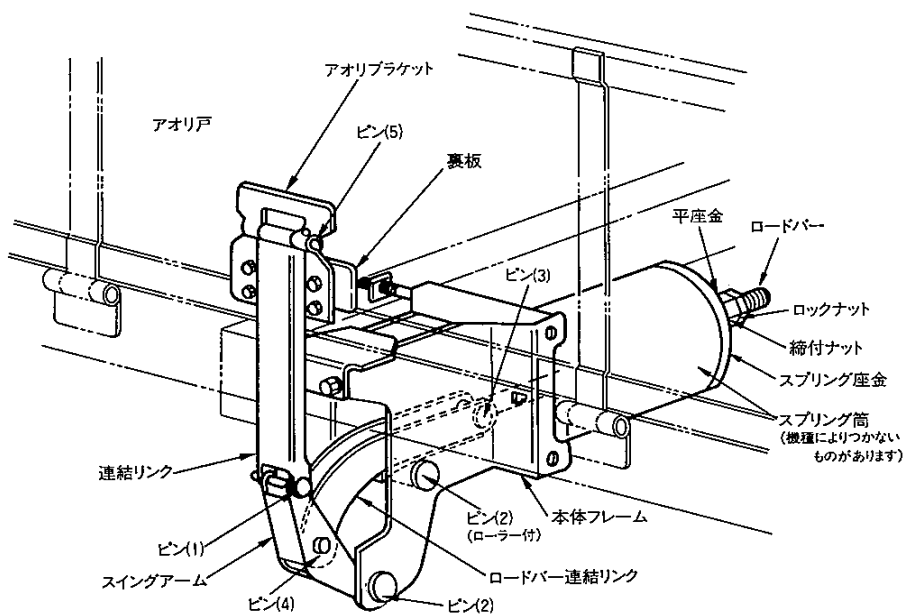


図1 (機種により多少形状が異なります)

## 3 安全事項

### △ 警告

1. できるだけ水平な場所に駐車し、駐車ブレーキをしっかりとってからアオリ戸を開けて下さい。
2. 図2のような傾斜面でアオリ戸を開けないで下さい。開いたアオリ戸が戻って人体にあたる恐れがあります。また、積み荷が荷崩れして落下する恐れがあります。
3. アオリ戸の開閉にあたっては周りに人がいないことを確認して下さい。
4. アオリ戸開閉の際、アオリ戸の回転半径内に入らないで下さい(図3、図4参照)。バネ強さの調整が適切でない(強すぎる)場合、閉まろうとする運動が速くあご等の人体にあたる恐れがあります。
5. アオリ戸開閉の際、手や指等をはさまぬよう、十分注意して下さい。
6. 絶対にアオリ戸を開けたまま走らないで下さい。アオリ戸を閉め、全ての止め金具が効いていることを確認してから車を動かして下さい。
7. アオリバランサーやその周辺部品の分解、改造は絶対にしないで下さい。

### 注意

1. 長時間アオリ戸を開けたままにしないで下さい。アオリバランサーのバネを傷める恐れがあります。
2. フォーク荷役の時等でアオリ戸を無理に奥まで押込まないで下さい。

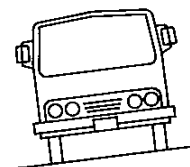
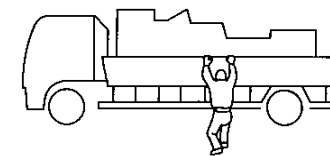
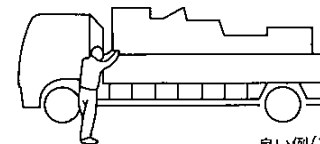


図2 傾斜面でアオリ戸を開けないで下さい。



悪い例(アオリ戸の回転半径内)  
図3



良い例(アオリ戸の回転半径外)

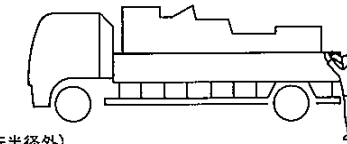


図4

## 4 アオリ戸の開け方

1. アオリ戸の止め金具を外して下さい。
2. アオリ戸の上縁を両手でしっかり持って、アオリ戸が荷台下側のゴムストッパーにあたるまでゆっくり開けて下さい。

## 5 アオリ戸の閉め方

1. アオリ戸の上縁を両手でしっかり持ってゆっくり閉めて下さい。
2. 止め金具でアオリ戸を固定して下さい。

## 6 日常の点検及び整備

1. 泥等の汚れがついた場合は水洗いして下さい。
2. 海風や融雪剤は錆を発生させやすくします。海岸付近や雪道を走行した後は、水でよく洗い流して下さい。
3. 無給油式となっておりますが、1～2ヶ月に一度アオリバランサーのピンやローラー(図5参照)に適量のマシン油(市販のもので結構です)を注油するとよりスムーズに作動し錆も防げます。

注記：1～2ヶ月に一度、アオリ戸自身の蝶番へも注油して下さい。よりスムーズな機能を発揮できます。

4. 以下の方法でバネの強さが適当であるか点検して下さい。
  - (1)アオリ戸を閉じた状態で、強く内側へ引っ張られていたり外側に開かれていないか確認して下さい。
  - (2)アオリ戸が水平の状態、手を離してもバランスがとれているか確認して下さい。
  - (3)アオリ戸を開けきった状態で、強く内側へ引っ張られたり外側へはね上がっていないか確認して下さい。
5. 外観の確認をして下さい。変形、亀裂、破損がないことを目視にて確認して下さい。
6. 部品の確認をして下さい。ピンの抜け、スナップリングや割ピンの欠落がないことを確認して下さい(図5参照)。ピン(1)～ピン(4)は頭部の反対側に抜け防止のスナップリングまたは割ピンがついています(ピン(2)は2本あります)。ピン(5)はアオリブラケット上に小さな穴がありロールピンを打ち込んであります。
7. ピン穴の確認をして下さい。摩耗による穴の変形、またはそれによるピンのズレがないことを確認して下さい。

8. 車両事故後は、アオリバランサーの外観に変形、亀裂、破損がないか、また取付不良や作動不良等が発生していないかよく調べて下さい。

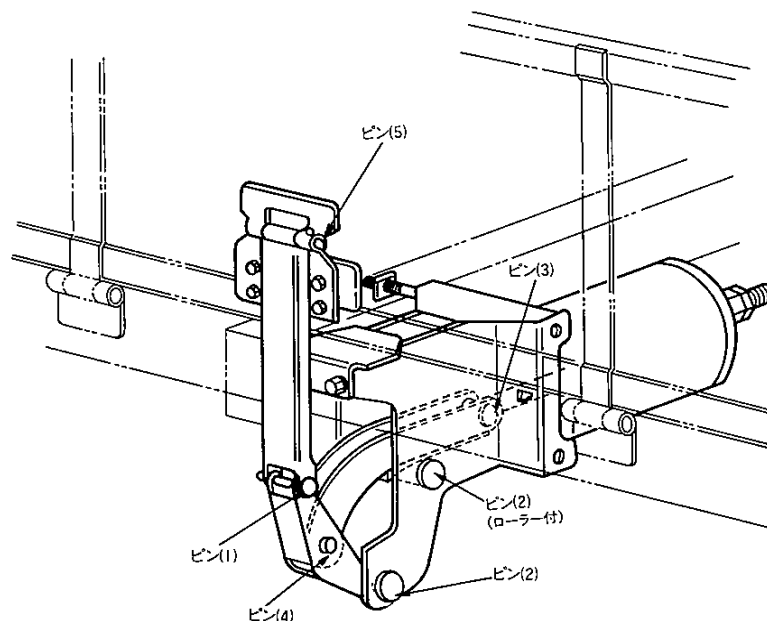


図5

## 7 異常を発見した場合

日常点検や車両事故後の点検でアオリバランサーに変形、亀裂、破損、取付不良、作動不良等の異常を発見した場合は、直ちにお買い上げのディーラーにご相談下さい。必要に応じ修理やユニット交換等の適切な処置を受けて下さい。車両を移動する必要がある場合は、十分に注意しながらアオリ戸を閉め止め金具で固定してから動かして下さい。

**タカラ産業株式会社**

〒416-0946 静岡県富士市五貫島1318

TEL <0545> 61-5500(代表)

FAX <0545> 61-7359